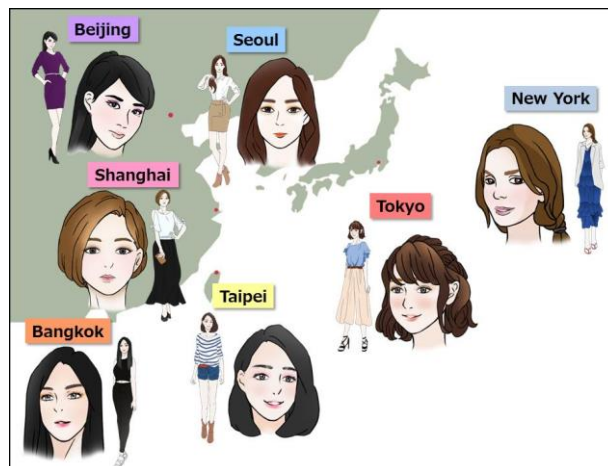


2017年10月17日

女性の生活や仕事への意識が、メイク表現にも影響を与える ～カネボウ化粧品が東アジアを中心とした7都市の女性のライフスタイル調査を実施～

株式会社カネボウ化粧品

カネボウ化粧品では、東アジアを中心とした7都市で「女性のライフスタイル調査」を実施しました。これにより、各国・地域それぞれの女性を取り巻く環境、社会的な立場やライフスタイルの違いが、メイク意識や表現にどのような影響を与えているかを確認しました。さらには、メイク意識や表現が違っていても、それぞれの表現方法でそれぞれにメイクを楽しんでいることがわかりました。



近年のインターネット・SNSの普及により、世界中のどこにいても同質な情報が得られる時代になりました。しかし、そのような中であっても、女性達のメイク表現は、国や地域によっていまだに明確な特徴を持っているように見受けられます。

たとえば、日本と韓国は、コスメ大国としてアジア地域に大きな影響を与えていますが、隣国同士であるにもかかわらず、そのメイク表現は大きく異なっています。そこでカネボウ化粧品は、東京、北京、上海、台北、バンコク、ソウル、ニューヨーク（NY）の18～34歳の女性、計1,219名を対象としたインターネット調査を実施。その調査結果から、以下のような考察をまとめました。

女性を取り巻く環境がメイクに影響を及ぼす

1. メイクの役割

どの都市の女性も、プライベートにおいては楽しんでメイクをしています。但し、仕事においては、東京・ソウルでは、メイクを女性の自由な選択としてではなく義務として感じている傾向があります。両都市とも、メイクの頻度、メイクにかかる時間やアイテムは他都市より多いものの、メイクの楽しみ度合いは、特に仕事において低くなっています。

2. メイク表現

東京・ソウルの女性のメイクに対する考え方は、アジアの中でも特殊です。

他の都市では個性の魅力や美しさそのものを追求する傾向が強いのに対し、東京の女性はメイクを身だしなみ・エチケットと捉えており、集団の中に溶け込むために温和で可愛いイメージを好み、個性的なスタイルを嫌う傾向がみえます。一方ソウルは、メイクの目的は欠点をカバーすることであり、競争社会で勝ち抜くためのツールであることがうかがえます。

3. メイクと仕事

東京やソウルは、仕事・プライベートの服装やメイクのオン・オフの切り替えがあまりありません。対して北京、バンコクやNYは、仕事の場面でのドレスコードが決まっていることが多くなっています。そしてドレスコードがはっきりしている都市の女性ほど、仕事上のメイクが自信向上やプロフェッショナルにみせることに繋がり、積極的に楽しんでいる傾向にあります。

4. 生活や将来について

東京やソウルでは、総合的な生活満足度が、過半数を超えているとはいえ他都市より低くなっています。要因の一つとして、仕事やパートナーとの関わりについて不満を感じていることがうかがえます。特にソウルの女性は男女間の不平等感を強く意識しているため、仕事における男女不平等感も不満足に繋がっていると推測できます。東京やソウルでは、将来について考える女性が他都市より多く、将来への不安も関係していると思われます。上海、北京やバンコクでは親との関わりを大切に思っており、家族関係、仕事の満足度も高く、全体的に高い生活満足度となっています。

このような各都市の社会的背景が、上に挙げたように、女性達のメイクの役割や表現に影響を与えていると考えられます。

調査の詳細と概要

<調査手法>

インターネット調査 2016年10月実施（一部2016年12月に追加調査実施）

<調査対象>

東京、北京、上海、台北、バンコク、ソウル、ニューヨーク（NY）の18～34歳の女性
各149～155名（東京のみ307名） 計1,219名

<主な調査項目>

I. 社会の中での女性

大切な時間、パートナーに求めること、興味のあること、仕事で重視すること、生活満足度、男女間の不平等意識

II. なりたい人物像

なりたい人物像、褒められてうれしい言葉、見せたい自分の印象

III. メイクの実態

メイクに費やす時間、使用アイテム、メイクに力を入れるタイミング、ドレスコードの有無、日々のメイクの楽しみ度合い、メイクをする意味、好みのメイク・色

<調査結果要約>

I. 社会の中での女性

- ◆北京・上海・バンコクの女性は「親と過ごす時間」、東京・台北・ソウルの女性は「自分の時間」、NYの女性は「夫婦・パートナーとの時間」を大切にしています。
- ◆東京の女性が「妻・パートナーに求められていると思うこと」は「家事・育児をこな

す能力があること」。

- ◆「今一番興味があること」は、東京・台北・ソウルの女性は「自分の将来について」。北京・上海・バンコク・NYの女性は「家族のこと」。バンコクの女性は「仕事のこと」にも興味を持っています。
- ◆生活に対する満足度は、相対的に、東京とソウルが低く、バンコクが高くなっています。
- ◆ソウルの女性は、「社会について」「職場について」「家庭のことについて」、男女間にある不平等を感じていますが、東京の女性は他都市と比較しても、さほど不平等意識は感じていないようです。

II. なりたい人物像

都市	自分がなりたい人物像	褒められてうれしい言葉	なりたいと思う（理想の）顔の印象
東京	<u>気ばりができる</u> 行動力がある	一緒にいると落ち着く・ ほっとする、気が利く	上品な かわいい
北京	<u>積極的</u> スタイルが良い	センスがいい 仕事ができる	エレガント フェミニン
上海	<u>積極的</u> 楽しい	センスがいい 手際がいい	エレガント 健康的
台北	<u>頭の良い</u> 楽しい	手際がいい 頭の良い	知的 フェミニン
バンコク	<u>自立した</u> 誠実な	かわいい 頭の良い	知的 かわいい
ソウル	<u>仕事ができる</u> 明るい	仕事ができる センスがいい	洗練された 上品な
NY	<u>ユーモアがある</u> 頭の良い	ユーモアがある 楽しい	やさしい 健康的

III. メイクの実態









- ◆ソウルの女性は7都市で最もメイクに時間をかけ、また使用アイテム数も最も多くなっています。東京の女性は、アイテム数は多いものの、かける時間は最も少なくなっています。
- ◆最もメイクに力を入れるタイミングは、バンコク・北京は「仕事に行くとき」、ソウルは「デートのとき」。東京の女性は「同性の友人と遊びに行くとき」が他都市より高くなっています。
- ◆プライベートではすべての都市で、7割以上の女性が楽しんでメイクをしています。一方、仕事では、プライベートと比較して楽しみ度合いは低くなり、東京・ソウルは特に低くなっています。
- ◆メイクをする意味は、ソウル以外の都市は、「身だしなみのため」が一番に挙げられて

いますが、ソウルの女性は他都市とは違い「欠点カバー」「自己表現」のためにメイクをしています。また、北京・上海・バンコクの女性も、2番目には、「自己表現」を挙げています。また、東京の女性は「おしゃれを楽しむ」ため、NYの女性は「女性であることを楽しむ」ためにもメイクをしています。

◆各都市の女性像（イメージ）◆

※あくまでも調査結果をベースに、各都市の女性像や特徴あるメイクの一例を示しています。

		メイクの特徴
東京	 <p>【人との調和を求め、温厚】 職場ではキャリアアップよりも<u>人間関係重視</u>。<u>同性の友人が大切</u>。 生活満足度は低め。興味があるのは「<u>自分の将来</u>」。 なりたい女性像は「<u>気ばりができる</u>」「<u>明るい</u>」等、人との調和が取れる人。 なりたい印象は「<u>上品</u>」「<u>かわいい</u>」。</p>	 <p>チーク・アイメイクが濃いめ。 バランスを取るため、口もとはグロスでツヤを出す。 メイクをおしゃれとして楽しんでいるが、オン・オフでメイクを変えない。</p>
北京	 <p>【美への意識が高く、個性的】 <u>家族、特に親がとても大切</u>。美容に時間をかける。 <u>自己表現や美しさの追求</u>のためにメイクをする。 センスが良く、<u>仕事ができる女性</u>を目指す。 なりたい印象は「<u>エレガント</u>」「<u>フェミニン</u>」。</p>	 <p>とにかく美しさを追求し、特にベースメイクに注力するが、ナチュラルメイクを好む。上海や他のアジアの都市よりも、青みのある華やかな色味を使う。</p>
上海	 <p>【社会的で、積極的。楽しいことが好き】 <u>家族、特に親がとても大切</u>。 美しさ、センスの良さのある<u>積極的で楽しい人</u>になりたい。そのため、見た目も大切。 仕事で重視しているのは「<u>福利厚生</u>」。 なりたい印象は「<u>エレガント</u>」「<u>健康的</u>」。</p>	 <p>ナチュラルメイクを好む。ポイントメイクよりベースメイクに注力。ベージュやローズピンクなど、北京よりも優しい色味を使う。</p>

台北	 <p>【自己研鑽意識が高く、文武両道を目指す】 <u>仕事に対しては、収入よりもやりがいを求め、積極的。</u> 今後増やしていきたい時間は「スポーツ」「勉強」。 <u>頭が良いこと、手際が良いことも大切。</u> なりたい印象は「知的」「フェミニン」。</p>	 <p>ナチュラルメイクが好みで、使用化粧品は少なめ。ベースメイク・アイブローが大事。メイクにはリフレッシュの意味合いも。</p>
ソウル	 <p>【完璧な美を求める頑張り屋】 生活満足度は低め。興味があるのは「自分の将来」。キャリアアップ志向が強い。 <u>家族も友人も自分も大事。</u> 競争社会の中で生き抜くため、<u>キャリアや外見を磨くことに積極的。</u> なりたい印象は「洗練」「上品」。</p>	 <p>欠点をカバーし、自分の魅力を表現。メイクには時間をかけ、多くのアイテムを駆使する。アイライン、口もとを強調したメイク。リップはデートの時にカラーを変化させる。チークはあまり使わない。</p>
バンコク	 <p>【プライベートも仕事も充実して、前向き】 生活満足度が高い。男女の不平等感も低く、<u>大切な家族との時間もある。</u> <u>仕事もとても大事。収入ややりがいを求めて積極的に取り組んでいる。</u> なりたい印象は「知的」「かわいい」。</p>	 <p>ファンデーション・眉・口紅重視。 ナチュラルメイクが好みだが、コントロールカラーを使用したり、アイシャドウやリップでカラーメイクを楽しんでいる。</p>
ニューヨーク	 <p>【ユーモアが大切。充実したライフスタイル】 ライフスタイルを楽しみ、ワークライフバランスが取れ、自立した女性を目指す。健康志向も高い。 個人の趣味や恋愛、ファッションを楽しみ、<u>パートナーとの時間を大切にする。</u> なりたい印象は「やさしい」「健康的」。</p>	 <p>ファッションとして、様々な魅力を演出するためにメイクをしている。骨格を活かした目もとメイクが得意。 ベースメイクはさほど重要ではなく、マスカラ・アイライナー・口紅が大事。</p>